

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

科学技術部会長 中島 稔
環境技術委員長 南川 秀樹
両団体執行理事 清原 淳平

環境技術委員会のお知らせ(第386回)

日時 令和5年7月19日(水)午後1時半～4時
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第6会議室
千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第6会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議題
- 1、環境問題について、昨今想うこと
挨拶 南川秀樹環境技術委員長
 - 2、環境負荷を低減する植物由来の樹脂について
解説 青木大輔千葉大学大学院工学研究院准教授
 - 3、『環境技術関連ニュースNO.219』
解説 中島稔科学技術部会長

報告 去る6月20日開催の第386回環境技術委員会は、南川秀樹委員長が議長を務め行われました。はじめに、南川委員長より、開会挨拶がありました。50年までに海洋プラスチックによる汚染を0にすべく、プラスチック汚染に関する条約策定に向け、政府間交渉委員会が立ち上げられ、来年末までの合意を目指している。国別の目標設定、義務的措置、評価などを盛り込む。日本は、環境省の参事官が副議長を務め、世界最大の排出地域であるアジア太平洋地域の巻き込みに注力している。促進、条約が批准されれば、海洋ごみの漂着について、自治体が負担を負うことはなくなる。COPでもそうだが、国際会議では資金拠出の問題で議論が紛糾し、進展しなくなることが多い。この問題を乗り越え、目標の来年末の作業完了に向けた努力に期待したい。

次に、清原淳平代表兼執行理事より、当日の講師・伊坪徳宏早稲田大学理工学術院総合理工学部教授の経歴紹介がありました。これを受けて伊坪教授より、「リサイクル効果の検証とCO₂削減」と題して解説がありました。化学的アプローチにより、様々なリサイクル技術の効果を数値化し、埋立や焼却処理と比較してどれほどの効果を上げたかを検証するのが今回の技術である。鹿児島県志布志市で行っていた紙おむつ(紙は4割ほどで、残る6割はプラスチックである)の処理を例にとると、今までは焼却施設がなく、埋立処理を行っていたが、おむつはかさばるので、埋立には限界があった。他の自治体に輸送して焼却処理を依頼したこともあったが、焼却処理だけでなく輸送の過程でもCO₂を排出しており、紙おむつ1枚当たり162gのCO₂を排出する計算になる。新設した実証実験プラントでは、投入した紙おむつを破碎、攪拌してプラスチックフィルムを分離する。その後、薬品で洗浄し、汚物を除去。パルプとポリマーを分離する。ポリマーはそのまま再利用し、パルプはオゾンで漂白して紙として再生する。パルプの回収率を上げることで、1枚当たりのCO₂排出量を100gまで削減できた。オゾン処理の工程を加えていることでコストはかかっているが、省電力化が出来ればより排出量を引き下げることができる。他にも、オフィス内の廃紙を集めて社内で再生紙を製造する機械によって、25%のCO₂削減効果を生み出したり、着られなくなった衣服とペットボトルを再利用し、再びTシャツとして活用することによって排出量を半減させたりするなど、各種企業の取組に技術評価を行い、改善可能な部分について提案するなどして、CO₂削減に寄与することを目的としている。

次に、中島稔委員長より『環境技術関連ニュースNo.218』の解説がありました。今回は、○政府、熱中症対策計画を閣議決定。30年までに死者数を半減させることを目標とし、高齢者などの弱者の見守りを強化する。○2013～22年の間に、世界の気温は0.2℃上昇。石炭の使用削減が、太陽光を覆っていた大気汚染を改善させた結果、温暖化が進行したとの指摘も。等々が紹介され、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費千円にご協力をお願い申し上げます。
次回、7月19日(水)の環境技術委員会(衆1-地下1F、第6会議室)に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。
非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。
(その際の当日会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp